

市民ムービー



市民の手づくりによる自主製作映画「タカハマ物語」の製作実行委員長鳥居正幸さんをお招きし、制作のきっかけや、映画を通じて育んだ交流や苦労話など、まちづくりにかけた熱い想いを語っていただきます。

テーマ

「映画を通じて交流を」

講師

鳥居正幸氏(1956年 愛知県高浜市生まれ 小牧市本庄在住
(株) 広告共和国 代表取締役、デザインディレクター)

とき

2013年 2月 19日 (火)

午後6時30分～8時30分 (受付6時から)

ところ

小牧市公民館4階視聴覚室

定員

50名 (申込み先着順)

参加費無料

タカハマ物語

映画づくりで街を活性化させようと、愛知県・高浜市・協賛企業らが制作費約1000万円をかけて2011年10月から翌年5月に撮影。主役からエキストラ、裏方まで、子どもから大人まで多くの市民が映画づくりに参加し、撮影に協力した。監修は映画「20世紀少年」などで知られる堤幸彦監督。2012年9月2日高浜市立中央公民館ホールで一般公開され、10月には名古屋市中区の伏見ミリオン座や高浜市内で上映。ストーリーは、高浜市の伝統産業である鬼瓦を割ってしまった中学生らが、弁償しようと賞金目当てに瓦利用のアイデアコンクールに応募し奮闘する青春物語。

「タカハマ物語」公式HP

<http://takahamamonogatari.com/>

